

常石ともにまちづくり推進委員会

委員長 梶原 祐爾

(問合せ先) 084-987-3839 (常石交流館)

事業内容

- (1) 「育む」安心・安全① 防災啓発, 防災倉庫点検, 折りたたみ担架整備
一斉避難訓練(要支援者対策) (11月27日) 320人
- (2) 「育む」安心・安全② 交通・防火意識啓発(年5回)実施 登下校見守り活動(課業日)
おでかけ支援事業(買物支援週4日他)
- (3) 「培う」繋がり① 新成人を祝う会(8月13日) 常石公民館 33人
つねいし交流広場(10月22日) 常石ともに学園 650人
- (4) 「培う」繋がり② 敬老会(9月18日) 常石ともに学園 中止 絵手紙交流 297人
親子夏まつり(8月20日) 常石公民館 400人・親子クリスマス会(12月
4日) 常石ともに学園 400人……事業サポート・スタッフとして参画
- (5) 「引き継ぐ」技と知識 さをり体験塾(7月~12月) 常石公民館 延べ37人
子どもチャレンジ(12月24日) 常石公民館 22人 クリスマスケーキづくり
トライウォーク・まちづくり研修の世代間交流 中止
- (6) 「果たす」みんな一役① 環境美化活動(4月~3月) 学区内一円
地域内一斉古紙回収(リサイクル)(4月~3月) 延べ約200人
地域内春季一斉清掃(5月8日) 約310人, 花いっぱい運動
- (7) 「果たす」みんな一役② まちづくり広報活動(年12回 A3両面 発行総数 8,800部)
- (8) 「図る」地域連携による活性化① 沼隈町駅伝大会(1月15日) 沼隈運動場 スタッフ56人
- (9) 「図る」地域連携により活性化② 人・まち・ふくしまルシェ 2022
(11月13日) 沼隈支所 3,000人
- (10) 「支える」委員会活動 推進委員会運営事業
(年11回 委員会180人, 年11回 例会297人)

成果

コロナ禍3年目, ウイズコロナ・アフターコロナを意識した, 工夫を凝らした企画や事業運営の方法を考えながら, 事後展開に頭を悩ませた一年だった。そんな中で, 関われる部分ごとにそれぞれの人が, スタッフとして参画する新しいカタチのふれあい事業「つねいし交流広場」を持つことができた。

課題

超少子高齢化時代を迎え, 地域にまちづくりの担い手が減っているなか, これからの「まちづくり」は, どうあるべきかを意識しながら, みんなで知恵を出し合っていくことが求められる。

課題解決にむけ

次代を担ってくれるリーダーを育てるため, 常石ともに学園に他地域あるいは移住して通学している児童の保護者の方達にもスタッフに加わってもらい, 継続可能なコミュニティのあり方を模索していく。

開校した学校とともに

地域と創る新たなカタチのコミュニティ！

2022年(令和4年)4月1日、常石地域に、公立学校では初めてのイエナプラン実践校「常石ともに学園」が開校しました。同校は、希望者が選べる学校で、児童は全国各地より集まりました。まちづくり推進委員会では、学校と連携し、より多くの人々がスタッフとして関われる新しいカタチのコミュニティづくりを模索しています。

常石公民館だより
第214号
2022年11月15日



つねいし

発行 常石公民館
沼隈町常石 213 ☎987-3839
E-Mail

tsuneishi-kouminkan
@city.fukuyama.hiroshima.jp

地域

玉入れ



大玉ころがし



〇×クイズ



大抽選会



ボランティアスタッフ
大活躍!



かき氷
コーナー



第1回
常石ともに学園運動会 & つねいし 交流広場

10/22
(土)

エアアーチでお出迎え!!

常石ともに学園運動会

